

平成30年度
事業計画書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

公益財団法人しまね海洋館

I 管理・運営計画の部

1 はじめに

当法人は、島根県が設置した、島根県立しまね海洋館の管理運営を指定管理者制度の下で、健全経営を基本に運営をまいりました。

経営の基本的な方針として、①シロイルカやペンギン、サメ水槽など大小約 50 ある水槽に、創意工夫を凝らした飼育展示に努めること ②当館の自慢できる飼育展示を全国へ発信し、集客につなげる積極的な営業活動の展開に努めること ③多くの来館者へ心のこもったおもてなしの接客とリピーターの確保など、水族館経営の3原則である【展示】【営業】【接客】の理念のもとに運営をまいりました。

平成 12 年の開館以来、平成 29 年度末の 18 年間で、約 860 万人近い入館者（年平均約 50 万人）を確保し、しまね海洋館の設置目的である「島根県西部地域の活性化」に寄与してきたところであります。

一方、施設設備は経年劣化が進み、合わせて水族館独特の大量の海水を使用する施設でもあり、その劣化の進行は想像を絶するものがあり、施設の健全な維持管理にも多くの労力を費やしてきました。

こうした諸情勢を鑑みて、設置者である島根県において、平成 25 年度から施設の健全な保持保全と修繕費の平準化を図って行くため「長寿命化計画」が策定され、今後 20 年間で約 60 億円を投資し、遊空間（水族館）の健全な維持発展を計ることとなり、本館 1 階の【いわみ万葉の磯】の全面改装と各水槽、2 階【キッズルーム】と【授乳室】の改装、3 階【コーラルリーフ水槽・世界の海コーナー】の全面改装、【特別展示室】の改装、本館 2 階の【アシカ・アザラシプール】の全面改装や【ペンギン館】では、機器の更新などが順次整備されてまいりました。

平成 29 年度は大きな課題でありました、本館【シロイルカパフォーマンスプール】やタッチプールとして子供たちに人気のある【いわみふれあいの磯】と【熱源機器】等の全面的な改修に着手し（事業費約 10 億円）アクアスの更なる魅カアップを図ることとなりました。

この工事のため、本館【シロイルカパフォーマンスプール】で飼育展示しているシロイルカ 3 頭を平成 23 年 4 月に整備した【別館シロイルカ繁殖プール】へ平成 29 年 5 月 23 日に移動したため、当館の超ブランドとして定着した【シロイルカのバブルリングを伴ったパフォーマンス】を、平成 29 年 5 月 15 日から平成 30 年 3 月 23 日までの約 11 ヶ月の間休止せざるを得ないことから、平成 29 年度の入館者は、30 万人近くまで減少することが予想されます。

新年度は、リフレッシュされた【シロイルカパフォーマンスプール】において、日本でここだけの《親子3頭によるパフォーマンス》が平成30年3月24日（土）より公開できることとなり、アクアスの魅力アップと当地域の活性化に大きく寄与してまいります。

2 年間入館者について

第3期指定管理期間の年次計画(第4年次)による平成30年度入館者数は、371,900人であるが、シロイルカパフォーマンスプール等のリフレッシュ効果を期待し、約8%アップの40万人を想定し、事業計画上の基礎数値として進めます。

(入館者予測)

区 分	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 見込み	平成30年度 入館者見込み
総入館者数 (対前年比)	369,024人 (97.8%)	373,833人 (101.3%)	357,772人 (95.7%)	300,000人 (83.8%)	400,000人 (133.3%)
有料入館者 (対前年比)	286,948人 (96.2%)	287,871人 (100.3%)	275,645人 (95.8%)	231,000人 (83.8%)	308,000人 (133.3%)
無料入館者 (対前年比)	82,076人 (104.0%)	85,962人 (104.7%)	82,127人 (95.5%)	69,000人 (84.0%)	92,000人 (133.3%)

2 開館計画

(1) 開館日

平成30年度開館予定日数：324日 ※条例上は319日

○条例で定められた休館日

- ・4/30～5/2、7/21～8/31、12/28～12/30、1/2、1/3を除く火曜日
(火曜日が祝日の場合は、翌平日)
- ・12月31日、1月1日

○条例で定められた休館日のうち、下記の計5日間来館者サービスの為に開館します。

- ・平成30年4月3日、12月25日、12月31日
- ・平成30年1月1日、3月26日

(2) 開館時間

○条例で定められた開館時間

- ・通常期(4/1～7/19、9/1～3/31) : 9:00～17:00
- ・夏休み期間(7/20～8/31) : 9:00～18:00

○上記にかかわらず、ゴールデンウィーク・夏休み期間など繁忙期は、入館者の状況を見ながら開館時間の繰り上げ閉館時間の延長を行います。

3 職員体制

《平成 30 年度職員数》

区 分	正 職 員		契約職員	計	備 考
	技術職	事務職			
館 長		1 名		1 名	常務理事兼務
副 館 長		1 名		1 名	経営課長兼務
経 営 課		4 名	2 名	6 名	
海獣展示課	7 名		7 名	14 名	
魚類展示課	7 名		3 名	10 名	
設備管理課	2 名			2 名	
接客・接遇職員			10 名	10 名	
計	16 名	6 名	22 名	44 名	

4 職員採用計画

平成 29 年度に正規職員において、経営課 1 名、海獣展示課 1 名、設備管理課 1 名合わせて 3 名の退職がありました。

欠員の補充及び体制強化を図るため、経営課（事務関係）で 2 名、海獣展示課及び設備管理課（飼育技師関係）で 2 名を採用したいと考えます。

Ⅱ 事業の部

1 公益事業

(1) 接客業務事業

①接客・接客業務体制

アクアメイト7名、接客補助契約職員3名を合わせ合計10名体制で望みます。

②アルバイト

土曜・日曜・祝祭日及びゴールデンウィーク、夏休み、春休みなど、来場者の状況を踏まえ必要に応じてアルバイトの雇用を行います。

(2) 集客対策事業

1) 送客誘致事業

① エージェントへの団体客誘致活動

- ・ 島根県、島根県観光連盟、各種協議会等が実施するエージェント招致事業等に参加し積極的な誘致活動を実施してまいります。
- ・ 島根県はもとより集客重点地域である山陽方面(広島、岡山)、及び山口、愛媛、香川県のエージェントへの誘致活動を実施してまいります。
- ・ 広島・島根生協組合(25万人)、マツダ労働組合及び福屋労働組合等への施設利用促進対策のほか、他の共済組合・団体等への積極的な送客誘致活動の実施してまいります。

② 各種観光キャラバン等への参加

島根県、島根県観光連盟、浜田・江津観光協会等が実施する観光宣伝事業とタイアップし、積極的な訪問宣伝・街頭活動を実施してまいります。

③ 周辺施設と連携した魅力ある誘客対策

石見ツーリズムネット(H30.2月現在:18施設加盟)などと連携した魅力ある周遊型商品の開発・石見地方のご当地グルメ(神楽めし)開発などに連携した取り組み、石見地域への誘客を図ってまいります。

④ 島根県立しまね海洋館公式 SNS の開設

平成26年6月2日(月)より公式 facebook ページを立ち上げました。(H30.2月現在:4,317「いいね!」)また、平成29年10月26日(水)からは公式 instagram を開始しました。(H30.2月現在のフォロワー数:285人)
旬な情報を提供するため、引き続き実施してまいります。

⑤ 山陰ディスティネーションキャンペーンへの参画

平成30年度に実施される「山陰ディスティネーションキャンペーン」に参画し、JR西日本と島根県観光振興課と連携しながら誘客をはかっています。

2) 広告宣伝事業

シロイルカパフォーマンスの再開告知を広くお知らせするとともに、パフォーマンスに登場するシロイルカが親子3頭による非常に珍しいパフォーマンスであること、改修工事によりシロイルカパフォーマンスプールやタッチプールなどの魅力アップが図られたこともなども合わせて告知し、早期の入館者回復に向けた広報を行ってまいります。

① 広報宣伝期間

○重点期間

- ・4月中旬～ゴールデンウィーク
- ・7月中旬～8月の夏休み期間
- ・冬休み期間及び年末年始
- ・閑散期から春休みに向う3月中旬～

○その他期間

その他の期間については、アクアスイベント計画及び周辺施設・地域イベントの実施に併せた相乗効果が期待できる時期・タイミングで実施してまいります。

② 広報重点地域

○最重点地域 … 広島県及び岡山県を中心とする山陽方面

○主要地域 … 島根・鳥取(山陰エリア)及び山口・愛媛・香川方面

③ 主たる広告宣伝事業

○電波媒体広告(テレビ・ラジオ)

ゴールデンウィーク、夏休みを中心に、島根・鳥取(山陰地区)、広島・岡山(山陽地区)、山口、愛媛、香川方面に向けた広告展開を実施してまいります。

単にCM広告だけでなく、各放送局の情報番組や、放送局エリアでの街頭宣伝活動等とのセットでのキャンペーンを実施してまいります。

また、引き続き石見ケーブルビジョンに月1本・年間12本の水族館情報番組(LOOKIING FOR アクアス)を制作・放映し、生物や環境などより興味深い話題を提供してまいります。

○紙媒体広告(旅行雑誌・新聞)

山陰・山陽地区の有力なタウン情報誌・新聞を中心に集客時期を考慮して広告展開する。割引クーポン・読者プレゼント等を付け、より積極的に来館促進に取り組んでまいります。

○ネット媒体広告

インターネットやSNSを利用した広告・宣伝を強化していきます。

スマートフォン広告・Yahoo ディスプレイ広告を活用して最重点地域の子育て世代(20~40代・女性)をターゲットに広告展開を実施してまいります。

3) 来場者対策事業

- ① パフォーマンス待ち列対策（大型テント・熱中症対策等）
- ② ゴールデンウィークの交通対策（シャトルバスの運行等）
- ③ 中央広場への日除けテントの設置
- ④ 来館者サービス団扇制作
- ⑤ GW等 多客日の対策として館内に警備員配置 など

4) 集客対策事業

① アクアス盛り上げよう委員会（AMI）の取り組み

各課各係から横断的に募集した職員による「アクアス盛り上げよう委員会(AMI)」を組織し、集客力の向上とより豊かな水族館事業を実現するための事業を行います。

この中で一過性のイベントだけでなく、アクアスの魅力が底上げされるような企画・イベントを実施します。

② ファンクラブ会員数を増やすための対策事業の実施

季節を問わずに当館を楽しんでいただき、アクアスのファンを拡大させるために、常連客層ともいえるファンクラブ会員数を増やす取り組みを継続します。

平日に当館を利用していただく機会を増やすための「アクアス☆ゆったり親子の会」及びファンクラブ会員限定イベントなどを実施します。

平成 29 年度実績・・・「アクアス☆ゆったり親子の会」、「ファンクラブの日」

（p9 2）④再掲載）

③ アクアス春まつり 2019

春休み期間中である年度末週末を利用した地域交流イベントを実施し、多くの集客に繋げてまいります。

（p9 2）①再掲載）

(3) 水族収集・飼育・展示事業

生物の適正な収集を行い、生物の過ごしやすい環境をつくるため、飼育展示環境の適正な維持管理及び、飼育資機材の適正購入等を行います。

① 生物の収集

- ・シロイルカについては、ロシア側の搬出先であるロシア太平洋水産研究所及び、ロシア沿海州水族館とは、不測の事態における供給の道の確保及び、血統管理の面からも新しい血の導入は避けられないと考えており、未来に向け強固な協力関係の構築に努めます。
- ・ペンギン類については、オウサマペンギン・イワトビペンギンの入手が困難なため収集の機会を逃さないよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集を継続していきます。
- ・カリフォルニアアシカについては、平成 29 年 3 月にオスを導入しましたので、今後は安定的な飼育・繁殖環境を整え繁殖に寄与できるよう努めます。また国内の飼育園館の状況を把握し、他園館との良好な関係の構築に努めます。
- ・他展示生物については、近在の漁業協同組合・地元漁業者・活魚業者・他園館との連携を強め、引き続き良好な関係を堅持しながら水生生物の収集に努めます。

② 生物の飼育

- ・飼育生物の体調管理、環境管理に留意し健全な飼育に努めます。

③ 生物の繁殖

- ・飼育生物の健全な繁殖を目指し飼育環境の整備に努めます。
- ・H26年7月に、生まれたメスのシロイルカ（愛称：ミーリャ）は3歳になり、順調に成長しております。今後も、シロイルカの繁殖には積極的に取り組み、シロイルカの繁殖技術の確立を目指します。
- ・鰐脚類・ペンギン類については、当館だけの飼育数増だけではなく他園館への供給も視野に入れ環境整備に努め、繁殖技術の確立を目指します。
- ・他飼育生物についても、更に飼育環境を整え一種類でも多く自家繁殖ができるよう繁殖技術の確立を目指します。

④ 生物の調査・研究

- ・島根県隠岐の島固有種であるオキサンショウウオの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指します。
- ・希少種イシドジョウの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指します。
- ・島根県指定希少野生動植物であるミナミアカヒレタビラの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指します。
- ・ストランディング(野生生物の漂着)の調査
- ・ウミガメの上陸、産卵調査

- 島根県西部における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査
- 島根県産アメフラシにおける海産扁形動物の寄生状況について、弘前大学と共同研究を行います。
- 日本獣医生命科学大学の飼育下板鰓類の病理組織学的研究に検体の提供協力を行います。

(4) 学習交流事業

1) 教育事業

《ボランティアの育成・支援事業》

当館のボランティア組織「アクアサポーター」は、館内解説や教育事業の支援を主体とした活動を行なっております。主催事業の補助のほかに、自主活動の計画立案と実施を行える環境を整え、積極的な活動を促します。また、年度当初に視察・研修を企画し、活動の質を高めると共に、研修で得た知見を自主事業として反映させられるよう支援します。さらに、一定の要件を満たした活動においては弁当代等の活動費を助成し、活動しやすい環境の充実に努めます。

また、引き続き新規アクアサポーター募集及び研修を行い、登録希望者は通年で受け入れていきます。

《企画運営事業》

① 各種教育活動

- ・ 学校団体等(子供会・他団体含む)来館時のプログラム実施
- ・ 総合学習の受け入れ
- ・ 体験学習・教育実習等の受け入れ
- ・ 学校と連携した出張講座や移動水族館の実施
- ・ 地域の環境教育活動の支援
- ・ 各種主催事業の企画・実施

② 各種教育プログラムの作成及び情報発信

- ・ 体験スクール案内の作成、配布
- ・ 学習プログラム紹介の作成、配布
- ・ 学校教育利用を促進するため県内小・中学校へ訪問
- ・ しまね海洋館活動報告書(年報)の作成、配布
- ・ しまね海洋館機関誌「神話の海から」の作成、配布
- ・ 主催事業の告知、集客用ポスター、チラシ等の作成、配布
- ・ 島根県自然系ミュージアム等との連携
- ・ 県内社会教育施設・団体(美術館、科学館、教育委員会等)との連携
- ・ 各種教育研修会への参加
- ・ 各種教材の開発
- ・ 県西部の環境教育指導者の育成とネットワーク構築、活動の場の提供

③ 教育用備品・消耗品の作成・購入

- ・ オリジナルカンバッチ等、教育イベント宣伝物の作成
- ・ 出張講座等教育プログラム用解説パネル等の作成及び備品の購入
- ・ 教育活動用図書及び図書コーナー蔵書の購入

《主催スクール事業》

- ① アクアス体験スクール(継続) … 夏休みを除く月 1~2 回
- ② わんぱく探検隊(継続) … お盆期間を除く夏休み期間
- ③ サマースクール(継続) … 夏休み期間に 3~4 回程度
- ④ ハガキに描こうアクアスの海(継続) … 11 月~(募集) 2 月~(展示)
- ⑤ みんなの知らないアクアスツアー(継続) … 12 月~2 月

2) 地域交流事業

① アクアス春祭り

地域住民や地元企業、市民サークルの協力を得て、地域交流イベントを実施します。地元特産品の販売や地域食材料理などを試食・即売するテント村の設営、郷土芸能の披露など、地域住民と石見海浜公園来園者との交流を活性化し、地域振興に寄与できるよう努力します。

② 各種地元振興イベントの支援

《地域振興イベント協賛負担金》

- 江の川祭り
- 浜っ子祭り
- はっしー広場イベントステージへの協賛(地元神楽の上演経費など)

③ 各種減免週間への対応

児童福祉週間、敬老週間、障がい者福祉週間の対象者無料開放を行います。

④ アクアスファンクラブ会員への対応

「アクアスファンクラブ」会員を対象に、当館主催スクールの告知や会員限定スクールを実施します。アクアスのファンを増やし、愛される施設を目指すと共に、ファンクラブ会員の増加を図っていきます。

- ・機関誌「神話の海から」進呈
- ・アクアス体験スクール等の案内
- ・ファンクラブ会員対象のスクール開催
- ・ファンクラブの日制度(毎月 10 日)
- ・アクアスファンクラブスタンプカード進呈
(オリジナルグッズプレゼント、スペシャル体験提供)
- ・未就学児を中心とした子育て家族を支援するためのイベント開催
(アクアス☆ゆったり親子の会)

3) 特別企画展事業

水族館は、展示内容の変更が容易でないという性格上、特別企画展を計画的に開催し、展示に魅力と変化をもたせています。また、単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源の保護などの学習要素を多く取り入れた内容にも取り組んでいきます。

また、平成31年度特別展の計画を立てると共に、30年度中に準備調査もあわせて実施してまいります。

《開催予定》

- ① 第1回特別展 『ヤド、カリる?』
平成30年2月28日(水)～5月7日(月)
- ② 第2回特別展 『妖海屋敷 PARTⅡ(仮)』
平成30年7月14日(土)～9月24日(月・祝) (予定)
- ③ 第3回特別展 『ありがとうペンギン館 この10年(仮)』
平成30年11月3日(土・祝)～平成31年1月14日(月・祝) (予定)
- ④ 第4回特別展 『大軟体動物展(仮)』
平成31年春休み～GW

(5) 施設管理事業

1) 光熱水費管理

しまね海洋館は平成16年3月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づく第2種エネルギー管理指定工場に指定され、エネルギー管理員の選任及び毎年の定期報告が義務づけられています。

エネルギー(電気・ガスなど)の使用に関して適切な管理を行うと共にエネルギー効率を見直し、LED電球の積極的な導入や機械設備の効率的な稼働をはかり、省エネルギーを目指した管理に努めてまいります。

2) 設備メンテナンス

水族館の飼育設備は、飼育生物の生命に直結する重要なものです。さらに空調・照明・展示情報、清掃などの施設管理は来館者の安全と満足度を高めるため重要なものです。

また、水族館の設備は海水を使用するため経年劣化が激しく、機器類の耐用年数は短くならざるを得ない状況にあり、これまでのノウハウを全面的に生かしながら効率的かつ安全な管理を行ってまいります。

《主なメンテナンス項目》

- | | |
|---------------------|----------------|
| ① 設備管理業務 | ② 清掃及び環境衛生管理業務 |
| ③ 中央監視装置・自動制御機器保守点検 | ④ 昇降機設備保守点検 |
| ⑤ 海水取水施設保守点検 | ⑥ 熱源設備点検清掃業務 |

